

主体的・対話的で深い学びのために必要な思考力・判断力・表現力を高める学習活動の創造

学力向上推進員	委員 校長： 教務主任： 人権教育主事： 特別支援教育コーディネーター：	教頭：	校長
---------	---	-----	----

【各校の取組状況の把握について】

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職による授業参観、校内研修での報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的基本的な知識はほぼ身につけており、こつこつと努力することができる。 ●「書く」技能の個人差が大きく、特に視写に時間のかかる児童がいる。 ●文章に書かれている内容を正しく読み取れない児童がいる。	・当該学年までの基礎的基本的な知識が確実に身につけている。 ・語句をまとまりでとらえ、速く正確に文章を書き写すことができる。 ・教科書教材の文章やテストワーク類の問題文の内容を正しく読み取ることができる。	・チャレンジタイム(スキル学習)の中で、当該学年や前学年までのドリル学習をする。 ・作文読本や新聞等を活用し、定期的に視写させる。 ・教材文や問題文に線を引きながら読む習慣をつけるための授業改善を行う。		・個人の達成状況にはばらつきがある。 ・視写が速くなり、長文を書くことに対する抵抗が少なくなった。 ・文章に線を引きながら読むことを意識できる児童が増えたが、内容を正しく読み取ることには課題が残る。	・チャレンジタイムを確実に実施し、さらに力をつける。 ・家庭学習でも線を引ながら読むことを意識させる。 ・線を引くだけでなく、文章の要約等を練習させることで内容を正しく読み取る力をつける。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○しっかり考え、自分の思いを表現することに前向きである。 ●語彙力、文章構成力が弱く、自分の伝えたいことを十分に伝えられない。 ●他者の意見を取り入れて話し合う力が十分とは言えない。	・どのような場面でも、他者の意見を取り入れながら対話的に考え、自分の意見をすすんで話すことができる。 ・発達段階にふさわしい言葉を知り、思考・判断・表現する際に、知っている言葉を適切に使うことができる。 ・自分の思いや考え、感想等を正しい文章で豊かに表現できる。	・対話的な学習を各単元の中に計画的に設定した授業づくりを行う。 ・「言葉の宝箱」を、短文作り、作文・日記指導、国語辞典を使うなどの学習機会に積極的に活用する。 ・授業の振り返りや作文・日記指導の際に「書く→推敲する」習慣をつけさせる。		・下学年では他者の意見を聞いたうえで自分の意見を言える児童が増えた。 ・上学年では「言葉の宝箱」の活用により、文章表現の幅が広がった。また、国語辞典を机の横など身近なところに置いたことで活用の習慣が身についた。 ・自分で推敲する力はまだ十分ではない。	・他者の意見をもとに自分の考えを深める段階には至っていないので、次年度はそこを改善する。 ・配布されている「阿波っ子タイムズ」を活用する。 ・「言葉の宝箱」を、テーマ日記や言葉の言い換えなどに広く活用し、語彙を増やす。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題には真面目に取り組む、最後までやりきろうとする。 ●「なぜ」「どうして」「もっと知りたい」などの気持ち弱く、学習態度が受け身である。 ●集中が続かず、教師や友達の話を最後まで主体的に聞くことの難しい児童がいる。	・見通しをもって意欲的に学習に向かい、探究的な姿勢で課題を解決しようとする。 ・教師や友達の話を、自分の考えや思い等と比べながらよく考えて聞くことができる。	・児童の学習意欲や探究心が高まる授業について研究を深める。 ・単元のゴールを明確にし、振り返りと見通しを一体化させた授業を行う。 ・児童が考えながら集中して話を聞くことができるよう、聞き方のルール、話し方のルールを徹底し、指導者自身も話の伝え方を工夫する。		・校内研修、授業研究会等を実施し、研究を深めた。読書活動の活性化が学習意欲や探究心を高めることにつながった。 ・授業のはじめに目標とゴールを明確に提示することで、意欲が高まった。 ・「聞き方・話し方チェックシート」で定期的に自己評価させ、ルールを意識づけることができた。	・より意欲的に学習に取り組める授業を工夫し、自発的に学ぶ児童を育てるための研究を深める。 ・話を正確に聞き取る力や相手に伝わる話し方を身につけさせるために、指導者自身の話し方を改善する。 ・聞き方話し方のルールを児童の実態に応じたものに改善する。

令和2年度 学力向上ロードマップ

